

ミャンマーにおける野菜の品種改良の事業化 による農業の振興案件化調査

農学部 執行 正義

YAMAGUCHI UNIVERSITY

YAMAGUCHI UNIVERSITY

ミャンマーの農産物生産量、世界順位(2005年)

出所: FAO The Statistics Division (WEB-SITE) 生産額ベース

木豆	2	にんにく	10
いんげん豆	3	ココナツ	12
ごま	3	加工用バナナ	12
その他の豆	4	あひるの肉	13
ジュート	4	ガチョウの肉	14
菜種	5	天然ゴム	15
ひよこ豆	6	お茶	15
生鮮果実	7	雑穀	16
米(Paddy)	7	たまねぎ(乾燥)	17
ミルク(Buffalo)	8	ひまわりの種	17
殻付きピーナツ	8	きび	18
オールスパイス	8	えんどう豆(乾燥)	21
生鮮野菜	8	麻繊維	22
水牛の肉	9	さとうきび	22
卵(鶏卵以外)	10	大豆	23

ミャンマーにおける農業ビジネスの可能性～ミャンマー投資セミナー(ジェトロ 荒木義宏氏)～より

YAMAGUCHI UNIVERSITY

ミャンマーの主要野菜生産量(2007・8年度)

出所: Myanmar Agriculture Service

	作付面積 (1,000ha)	収穫量 (1,000ton)	単収 (ton/ha)
とうがらし	129	115.4	0.89
トマト	105	1,235.5	11.66
たまねぎ	70	1,029.8	14.52
じゃがいも	36	528.9	14.43
にんにく	28	200.5	7.0
キャベツ	28	448.7	15.7
マスタード	33	230.8	6.9
カリフラワー	23	310.2	13.2
ラディッシュ	19	249.1	12.5
ずいか	15	203.7	13.5
ひょうたん	19	221.3	11.5
レタス	8	52.1	6.7
にんじん	2	23.3	10.1
アスパラガス	0.3	1.5	4.4
その他	225		
合計	740.3	4,850.8	

ミャンマーにおける農業ビジネスの可能性～ミャンマー投資セミナー(ジェトロ 荒木義宏氏)～より

YAMAGUCHI UNIVERSITY

メコン地域への新しい地域協力 ～競合ではなく共存へ～

GMSは伝統的に農業国

- 豊富な農業労働人口
- 広大な農業用地
- 汚染が少ない農地
- 豊富な水資源
- 多様な植物資源、食品原料(低地～高地)
- 世界的な米作地帯(ベトナム、タイ、カンボジア、ミャンマー)
- 政府の積極的な外資誘致
- 農村部でのNGOの活動

既存のODA基盤整備
○物流網 ○電力供給

Step 1
食料資源の生産基地

Step 2
食品加工産業の集積

Step 3
アジアの食料基地

アライアンス
タイに集積した日系の食品関連企業 / アジアの地域のアグリビジネス

官民連携
日本のメコンへの経済協力
農業支援、食品加工支援
農業インフラODAの積極化
農業従事者の人材育成
農業・食品加工の技術供与促進
農業・食品加工関連産業(機械、パッケージなど)の技術移転
日系食品企業の進出促進

ミャンマーにおける農業ビジネスの可能性～ミャンマー投資セミナー(ジェトロ 荒木義宏氏)～より

2013

YAMAGUCHI UNIVERSITY

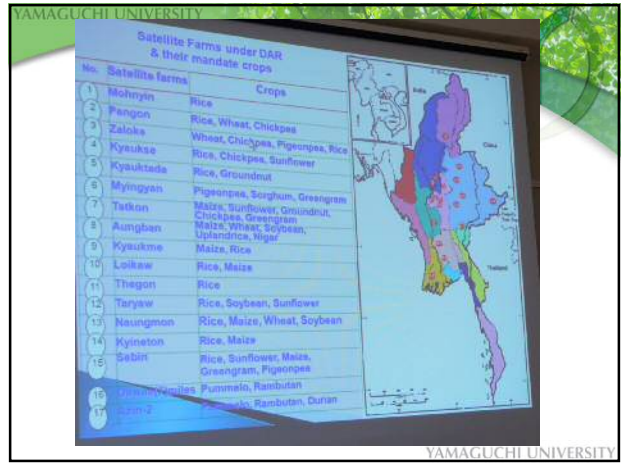
YAMAGUCHI UNIVERSITY

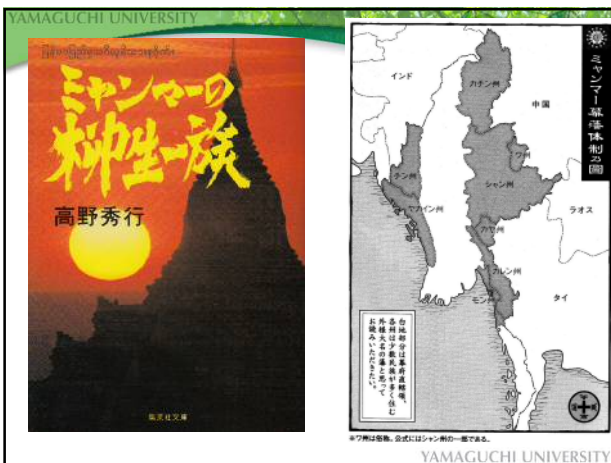
Plant Variety Protection(PVP)/PVP/Awareness Raising Seminar
Jointly organized by
MADR (M) (P) (Japan) and UPPV

‘植物品種保護に関する意識啓発セミナー’

YAMAGUCHI UNIVERSITY













YAMAGUCHI UNIVERSITY

JAPAN-ASEAN (参加国)
 多国間RILパイプライン敷設構想

(対象品目)
 ・自殖性野菜(ウリ科、ナス科など)
 ・他殖性野菜(アブラナ科、ネギ科など)

(役割分担)
 ・資源国でRILパイプラインを構築
 ・日本でオミクスパイプラインを構築
 ・民間種苗会社で病害抵抗性や健康機能性の評価系を構築

(期待される成果)
 ・資源国と利用国がともに利するwin-winの関係構築
 ・オンデマンドなマーカー選抜育種支援

(懸案事項)
 ・RIL増殖と情報管理を所管する清廉潔白な公益法人の創設

RIL (Recombinant Inbred Line)

Ren et al., PLOS ONE (2012)



平成27年度のミャンマー関係の仕事

1. 「平成27年度農林水産分野における遺伝資源利用促進事業」
2. 「アジア諸国における野菜新品種の導入支援
（世界蔬菜センター(AVRDC)拠出金）」
新規のODA予算で農水省大臣官房と新事業創出課
3. JICA 草の根事業への申請準備